～流れ星に想いをのせて☆まつり～『図書館☆まつり』

図書館の誕生日を祝う七夕にちなんだ祭り

市民図書館で、平成７年７月７日に開館した市民図書館の誕生日を祝う『第 29 回図書館☆（ほし）まつり』が行われました。松浦子ども太鼓や啓成中学校ブラスバンド部の演奏、おななしキャラバンによるおはなし会、図書館を探訪する『らいぶ★ラリー』など多彩な催しがあったほか、図書館を拠点に活動する団体などによる展示会や物品販売などが行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。

↑『いすの木合唱団』の歌声が観客を魅了しました

思いやりの花を咲かせよう『人権の花』贈呈式

花とやさしさいっぱいの大川内小学校に

大川内小学校で『人権の花』贈呈式がありました。『人権の花』運動は、年間を通した花の植栽や管理を通じて、児童の思いやりや協力する心を育てようと、唐津・伊万里人権啓発活動地域ネットワーク協議会が、伊万里市などの小学生を対象に行っているもので、今年は大川内小学校の児童が取り組みます。児童たちは、慣れない手つきながらも、贈られたマリーゴールドなど６種類の花苗を大切に植えていました。

↑苗はこれから子どもたちによって大切に育てられ、きれいな花を咲かす秋には観賞会が行われることになっています

園児による防火七夕

火の用心の願いを込めた短冊の飾り付け

伊万里消防署で、七夕の日を前に、幼少期から防火意識を高めてもらおうと、みなみ保育園の園児による『防火七夕』がありました。園児たちは『火の用心』や『火遊びはしません』と書かれた短冊を、消防士に手伝ってもらいながら笹に飾り付けました。また、みんなで七夕の歌を歌ったあとに『火を絶対に一人であつかわないこと』『花火は大人と一緒にやること』など､火の用心を約束しました。

↑慣れない手つきの園児たちは、消防士と一緒に一生懸命に短冊を笹に結んでいました

特産品『伊万里梨』の今シーズンの出荷開始

フルーツの里伊万里が誇る梨を全国へ

大川町のＪＡ伊万里梨選果場で、特産品の伊万里梨の初出荷がありました。この日は、７軒の農家がハウスで栽培した『幸水（こうすい）』種約 3.5 トンが、大きさや形、糖度を基に選別が行われたのち、東京都などの市場に出荷されました。選果開始前には、神事が行われ、関係者が、今季の豊作と作業の安全を祈願しました。梨の出荷は『幸水』『豊水（ほうすい）』『あきづき』『新高（にいたか）』と品種を変えながら11月頃まで行われます。

↑作業員は、選果機にかけられた『幸水』の形や色合いなどを一つ一つ丁寧に確認していました